

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	試験検査に関する調査研究				事業番号	011-256	
担当部署名	健康福祉局	局	健康部	部	衛生研究所		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—		施策	—		
			無	取組の方向性	—					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs未来都市計画 2021-2025	施策との関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画									
3	事業開始年度			昭和 39 年度		点検対象年度（堺市基本計画2030）		令和 12 年度		
4	実施根拠			地域保健法（昭和22年法律第101号） 地域保健対策の推進に関する基本的な指針（平成 6 年厚生省告示第374号） 地方衛生研究所等の整備における留意事項について（通知）（令和 5 年 3 月29日付け健発0329第10号厚生労働省健康局長通知）						

事業の概要

5	事業の実施主体	衛生研究所		
6	事業の対象	ウイルス検査、細菌検査、食品検査、環境検査の各事業に関連する研究分野	対象数	単位
			15	分野
7	事業の目的	上記研究分野について地域保健対策の効果的な推進、公衆衛生の向上及び増進、地域における科学的かつ技術的中核として関係行政部局と緊密な連携をとり、調査研究成果を還元することにより、市民の安全・安心な生活を守る。		
8	事業内容	最新の検査方法の検討や検査技術を応用する課題に関して、当所単独での調査研究、あるいは他の地方衛生研究所、国立感染症研究所をはじめとした国立研究所等と連携をとり、共同で調査研究を実施する。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容			
9	主な支出先			
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	12	12	12	12
			実績値	16	12		
			達成率	133%	100%		
	当該指標を選定した理由	当該指標は本事務事業の実施状況を直接的に表すものであるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	各検査担当につき1件の年報掲載、2件の発表・報告等を実施する。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	16	17	16	
			実績値	16	15		
			達成率	100%	88%		
	当該指標を選定した理由	当該指標は本事務事業の成果を上げるための有意な手段であるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	検査担当正職員1名につき1件の調査研究を実施する。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	試験検査に関する調査研究	事業番号	011-256
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			決算		決算		当初予算	決算	当初予算		
		事業費 (a)	437		437		437	437	437		
		国支出金	0		0		0	0	0		
		府支出金	0		0		0	0	0		
		市債	0		0		0	0	0		
		その他 ()	0		0		0	0	0		
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0	0	0		
			一般財源		437		437		437	437	437
14	人件費 (b)	6,480		6,480		7,560		7,560		7,830	
15	年間経費 (c)=(a)+(b)	6,917		6,917		7,997		7,997		8,267	

事業費の内訳

(単位：千円)

16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		需用費	R7	決算	437	437		R7	決算		
			R8	予算	437	437		R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		
			R7	決算				R7	決算		
			R8	予算				R8	予算		

Ⅳ. 事業の効率性					
単位当たり経費					
17		区 分	単位	令和6年度	令和7年度
	①	調査研究実施数	件	16	15
	②	上記①にかかる年間経費	千円	6,917	7,997
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	432,313	533,133
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価		
費用対効果に係る所見		
18	感染症のまん延防止、健康被害の拡大防止、今後のパンデミック発生を見据えた知見の収集には、当該事業は必須である。令和7年度の調査研究還元数及び調査研究実施数は、通常業務の試験検査を実施するなか、必要な研究を精査の上、必要な資源を投入できており、継続して効率的に事業を実施することで概ね目標を達成できた。全体を通して、資源投入は最小限であり、高い費用対効果を維持している。	
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）		
19	衛生研究所において実施する調査研究は、最新の知見を用いた新規検査法の探索から、実態調査や精度管理まで多岐に実施しているが、これらの最終目標はいずれも市民の安全・安心を確保することであり、事業目的の達成に対して大きく寄与している。今後も感染症や食中毒、水質事故や農業汚染など突発的な事象に対応するため、また日々の試験検査に精度よく結果を発出するため、最小の経費で最大の効果が得られる調査研究の実施に取り組む。	
20	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）	
	必要性 ■ 高い □ 低い 有効性 ■ 高い □ 低い	衛生研究所で実施する調査研究は、最新の知見を用いた新規検査法の探索から実態調査や精度管理まで多岐にわたり、最小の経費で最大の効果が得られるよう実施している。いずれの調査研究も市民の安全・安心を確保することを目的としており、事業目的の達成に対して大きく寄与している。感染症や食中毒、水質事故や農業汚染など突発的な事象に対応するために、必要性も有効性も高い事業である。